

平ガ岳・恋ノ岐沢

1991年9月14～16日

LJ

9月14日 福島(17:00)⇒御池ロッジ(21:00)

台風17号接近。沢に入る頃には通過するだろうとみて、雨の中福島を発つ。御池ロッジ駐車場でテントを張り、台風の通過を待つ。台風は21時過ぎに米沢付近で温帯低気圧に変わった。

9月15日 恋ノ岐橋(7:45)→清水小屋跡(9:35)→オホコ沢出合(14:00)

恋ノ岐橋から入溪。幾分の増水はあるが、濁りはない。天気は最初小雨が振っていたが、それもやみ曇りとなった。

4～5mの滝を4つ、2段10mの滝を越えると、清水小屋跡である。その後も4～6mの斜瀑や階段状の滝を次々に越える。いずれも搦き道ははっきりしている。途中イワナを手づかみする。婚姻色が覗かれている。

14:00オホコ沢出合到着。テッ場を出合のすぐそばに求める。だいぶ利用されているが、ゴミをビニール袋に入れ、木にぶら下げてあるのが残念。テッ場跡は川沿いにずいぶん見かけたが、釣人のゴミ、ゴミ袋をぶら下げが多く、目に余った。

9月16日 オホコ沢出合(6:30)→ナメ滝(10:00)→鷹ノ巣登山道(11:30)→姫ノ池(11:50)→玉子石(12:15)→五葉松尾根登山道(12:45)→中ノ岐林道(14:20, 15:00)⇒雨池橋(16:00)⇒恋ノ岐橋(18:15)⇒福島(23:00)

天気曇り時々晴。水量も少なくなり、トイ状の滝が多くなる。4～6mの滝を次々に越えると、傾斜がきつくなりブッシュ帯となる。50mのナメ滝は、左手のブッシュを利用して越える。高度も上がり、視界も広がる。ヤブがかぶさってきたところで、枝沢から搦き道をたどって、鷹ノ巣登山道に出る。

平ガ岳の山頂付近は木道が整備されていて、気持ち良い尾根歩き。姫ノ池、玉子石を見て、五葉松尾根登山道を下って、中ノ岐林道へ出る。林道に出た所で車に便乗させてもらい、雨池橋へ。中ノ岐林道は廃道に近く、車の腹をこすること頻繁。気の毒なくらいであった。

(記・ム...)

